

「レーザーAHAの位置は妊娠率に影響するか」後ろ向き研究のご協力をお願い

第二協立病院 ART センターでは下記の内容で研究を実施いたします。診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、末尾の連絡先にご連絡ください。

【研究課題名】「レーザーAHAの位置は妊娠率に影響するか」

【研究機関名および研究代表者名】

研究機関：第二協立病院 ART センター

研究代表者：生殖医療科 益田利江

担当業務：データ収集、データ解析、匿名化

【研究の目的と意義】

アシステッドハッチング（AHA）の際の透明帯へのレーザー照射は、透明帯と細胞の間に隙間のある部位を選択して行い、透明帯を菲薄化または開口するのが一般的な方法です。今回の研究ではAHAを行う部位によって妊娠率に差が見られるかを検討し、胚移植における着床率、妊娠率の向上を目的としています。

【研究期間】 2023年7月～2025年5月

【対象の患者様】 2023年7月1日から2025年5月31日までにARTセンターにて凍結胚を融解しAHA施行後胚移植を行った患者様

【研究の方法】 対象期間に凍結融解胚移植を行った患者様のデータを収集します。これらのデータは匿名化した状態で収集し解析を行います。新たに治療、検査を実施することはありません。データ：年齢、胚グレード、胚移植直前の画像、移植後の妊娠予後

【外部への情報提供・利益相反】 なし

【個人情報の取り扱い】 研究に用いる患者個人情報の保護を行います。研究報告により個人が特定されることはありません。

≪問い合わせ先≫ 研究責任者：益田利江

〒666-0033 兵庫県川西市栄町5番28号 第二協立病院 ART センター

Tel. 072-758-1123(病院代表)